

研究種目：基盤研究 (B)
研究期間：2006～2008
課題番号：18320091
研究課題名 (和文) 国際比較：初・中等教育における外国語教育の諸相 ー理念から教室の現場までー
研究課題名 (英文) International comparison : Aspects of foreign language education from primary to secondary educational stage ーideals and praxis in the classroom ー
研究代表者 吉島 茂 (YOSHIJIMA SHIGERU) 聖徳大学・人文学部・教授 研究者番号：50011309

## 研究成果の概要：

多文化状況が進んでいるヨーロッパでの外国語教育と、それが進んでいない日本やアジアの状況とでは、外国語教育を支える基本的理念に大きな差がある。外国語教育は、文化学習を取り入れることによって、事物を相対的（複眼的）に見る一般教養的態度の養成に大きく貢献できる。

この文化と外国語との関係づけは国によって大きく違う。言語の実利的運用価値以上の理解がない。ヨーロッパでも European Language Portfolio の取り扱いは国家間で大きな差がある。その最大の理由は、言語教育と異文化理解・教育の統合の面で具体的な指導法、教材作りが未開拓なためである。「英語活動」の成否もまさにこの分野での開発の成功に掛かっている。

## 交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	6,600,000	1,980,000	8,580,000
2007年度	4,500,000	1,350,000	5,850,000
2008年度	4,400,000	1,320,000	5,720,000
年度			
年度			
総計	15,500,000	4,650,000	20,150,000

## 研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育(3005)

キーワード：外国語教育、異文化理解・教育、指導要領、言語と文化、多文化状況、英語活動、European Language Portfolio

## 1. 研究開始当初の背景

日本の小学校への英語教育を導入する議論がある中で、その具体的な指導理念、方法については全く方向性が見いだせないでいる状況であった。国際的にその現状を見ることに可能性を見いだしたいと考えた。

近年議論されている公教育における小学校への英語教育の導入について、多角的にまた国際的観点から考察を加え、その実現の際には具体的な計画作成し、議論のための基盤となるデータ、モデルを提示しようとするものである。

## 2. 研究の目的

## 3. 研究の方法

(1) 理論面の文献調査

- (カリキュラム, CEFR, SFL, European language Portfolio)
- (2) 現場の授業参観・調査,  
教育関係諸庁の訪問聞き取り
- (3) 国際シンポジウムの開催(20年度)

#### 4. 研究成果

多文化状況が進んでいるヨーロッパでの外国語教育と、それが進んでいない日本やアジアの状況とでは、外国語教育を支える基本的理念に大きな差がある。ヨーロッパで十分とされる根拠も日本では説得性に欠ける。異文化理解(教育)と結びつけるヨーロッパの考え方は、単なる言語教育を超えて一般教養、人間形成の面を可能性としてもっている。事物を相対的(複眼的)に見る態度の養成に大きく貢献できるのである。これはヨーロッパでもまだはっきりと自覚されていない。日本ではそれを明確に意識することによって、小学校での外国語教育、外国語活動に明示的根拠、方向付けを与え、かつ他の教育領域とも連携・協調しながら小学校教育を豊かにし、中等教育への準備教育としての機能も全うできるのである。

ただ、この文化と外国語との関係づけは国によって大きく違う。中国では新しい指導要領で文化をも取り上げ、韓国では教育関係者が異文化理解を含めて、人格形成を考える。しかし一般市民、父兄がその理念を共有しているとは言えない。現場の教員にもその趣旨が徹底しているとは言えない。言語の実利的運用価値以上の理解がないのである。ヨーロッパでも European Language Portfolio の取り扱いに見られるように、国家間でも大きな差がある。その最大の理由は、言語教育と異文化理解・教育の統合が具体的な指導法、教材作りの面で非常に難しく、また現に未開拓の面が多いことにある。その点でも国、地域によって大きな差がある。英語活動の成否もまさにこの分野での開発の成功に掛かっている。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 22 件)

岡秀夫: スペインの言語事情と英語教育. 『研究論集』東京大学外国語教育学研究会 No. 12 2008 p. 1-18 査読有.

岡秀夫: CEFRを通して『外国語能力』を考える. 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻『言語・情報・テキスト』Vol. 15 p. 71-84 2008 査読無

岡秀夫: 英語教育の基準を求めて—日本版CEFRへの取り組み『英語展望』ELEC116 p. 18-23 2008 査読無.

金森強: 外国語活動 小学校学習指導要領移行措置の手引き p. 86-91 2008 査読無

岡秀夫: 新学習指導要領から見えてくるこれからの英語教育 『教育展望』5巻 p. 35-40 2008 査読無

岡秀夫: 「外国語活動」改訂のピンポイント解説『小学校学習指導要領』p. 214-217 2008

岡秀夫: 小学校英語活動のポイント 『教員養成セミナー』5巻 p. 10-11 2008 査読無

岡秀夫: 異なる文化のよさにどう気づかせるか 『小学校英語セミナー』31巻 p. 10-11 査読無

藪中征代: 幼児におけることばによるコミュニケーション能力を育てる 『指導と評価』p. 74-78 2008 査読無

佐藤久美子: 児童の絵本読みの理解過程と教え方のヒント 『日本児童英語教育学第29回全国大会』資料集 p. 58-61 2008 査読有

吉島茂: 文化と言語の多様性の中のCommon European Framework of Reference for Language; Learning, teaching, assessment 『明海大学大学院応用言語学研究』p. 33-43 2008 依頼原稿

藪中征代: 児童の英語活動に対する態度変容 『聖徳大学児童学研究所紀要』p. 65-73 2008 査読有

岡秀夫: How Does Intercultural Communication Work? -An Interactional Approach- 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻『言語・情報・テキスト』p. 25-34 2007

小泉仁: 国際共通語としての英語と日本の英語教育 『東京家政大学英語英文研究』p. 69-78 2007

藪中征代: 児童の朗読聴取における物語イメージ及び理解に及ぼす音楽の効果 『聖徳大学児童学研究所紀要』p. 113-122 2007

金森強: 海外の多言語教育政策からみる日本の言語政策 『教育展望』1・2月合併号 p. 39-46 2007

岡秀夫: 英語教育の研究と実践 —日本の問題— 明海大学大学院応用言語学研究科紀要 『応用言語学研究』p. 49-57 2006

吉島茂: 外国語教育の最前線—ヨーロッパ共通参照枠を通して— 『日本語教育振興協会ニュース』p. 28-55 2006

[学会発表] (計 12 件)

吉島茂: Adoption, application or reception of CEFR and ELP in Japan 多媒体英語学会 (Rocmelia) 2008年11月8日 台湾高雄教育大学

岡秀夫: バイリンガル研究から見た早期英語教育 名古屋外国語大学第20回英語教育講演会 2008年11月4日 名古屋外国語大学

志賀淑子: The EOLE approaches in Japan — a trial for practicing in initial training course — 科研シンポジウム「公教育としての外国語教育に課せられた役割— 小学校教育の視点から—」2008年10月13日 聖徳大学

吉島茂: The Role of Foreign Language Education. 科研シンポジウム「公教育としての外国語教育に課せられた役割— 小学校教育の視点から—」2008年10月12日 聖徳大学

金森強: Current State of English Education for Japanese Elementary Schools 科研シンポジウム「公教育としての外国語教育に課せられた役割— 小学校教育の視点から—」2008年10月12日 聖徳大学

岡秀夫: CEFR japan 『グローバルな英語コミュニケーション能力』の基準を求めて 第47回大学英語教育学会全国大会シンポジウム 2008年9月13日 早稲田大学

佐藤久美子: 英語絵本の読み聞かせにおける理解のプロセスと推測誤り分析. 小学校英語教育学会第8回全国大会 2008年7月20日 郡山

吉島茂: *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment (CEFR)とその理念と限界* 日本独文学会ドイツ語教育部会 2008年6月13日 立教大学

吉島茂: 外国語教育 児童から成人まで 地球ことば村 2007年11月15日 慶應義塾大学

吉島茂: Zur Behandlung von literarischen Texten im Deutschunterricht. Vom rezeptiven zum produktiven Spracharbeit Deutsch als Fremdsprache aus internationaler Perspektive 2007年9月9日 浙江大学 (中国)

岡秀夫: 英語教育の再生—『英語授業力』強化のために 茨城県高等学校教育研究会 2007年5月28日 茨城県教育研修センター

岡秀夫: 早期英語教育を考える—第二言語習得論の観点から 中京大学大学院文学研究科学術講演会 2007年3月6日 中京大学

〔図書〕(計6件)

岡秀夫 (編著) 『外国語教育学研究のフロンティア—四技能から異文化理解まで』 東京大学外国語教育学研究会 成美堂 2009 326頁 収録論文:

岡秀夫: ウィーンを中心とした英語教育改革—CEFRの応用と展開

吉島茂: 外国語教育における言語ゲーム—bingoからdebateまで— 231-245

大橋理枝: 質問項目の曖昧さに関する日米感での捉え方の差について 横型/縦型—個人主義/集団主義尺度を用いての一考察 296-307

福沢周亮 (監修) 藪中征代 (編) 『教材と心理』 教育出版 2009 221頁

佐藤久美子・松香洋子 『今日から私も英語の先生: 小学校英語指導法ガイドブック』 玉川大学出版部 2008 197頁

藪中征代 『朗読聴取に関する教育心理学的研究』 風間書房 2008 256頁

岡秀夫・金森強 『小学校英語教育の進め方—「ことばの教育」として—』 成美堂 2007 278頁

吉島茂・長谷川弘基 『外国語教育IV—小学校から中学校へ—』 朝日出版社 2007 244頁

〔産業財産権〕

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

〔その他〕

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

吉島 茂 (Yoshijima, Shigeru)

聖徳大学・人文学部・教授

50011309

### (2) 研究分担者

金森 強 (Kanamori, Tsuyoshi)

松山大学・人文学部・教授

90204544

岡 秀夫 (Oka, Hideo)

東京大学大学院・総合文化研究科・教授

90091389

志賀 淑子 (Shiga, Yoshiko)

聖徳大学・児童学部・准教授

90235515

長谷川 弘基 (Hasegawa, Hiroki)

岡山県立大学・デザイン学部・准教授

80306456

大橋 理枝 (Hashi, Rie)

放送大学・教養学部・准教授  
80337732  
藪中 征代 (Yabunaka, Masayo)  
聖徳大学短期大学部・保育科・准教授  
50369401  
(3)連携研究者  
福沢 周亮(Fukuzawa, Shuusuke)  
聖徳大学・児童学部・教授  
30008700  
津田 満璃 (Tuda, Mari)  
聖徳大学・人文学部・教授  
40364971  
菅 英昭(Kan, Hideaki)  
聖徳大学・人文学部・教授  
60234150  
小泉 仁(Koizumi, Masashi)  
東京家政大学・文学部・教授  
40411582  
李 哲権(Ri, Tekken)  
聖徳大学・人文学部・准教授  
70306455  
佐藤 久美子(Satoh, Kumiko)  
玉川大学・リベラルアーツ学部・教授  
60154043  
山岡 洋(Yamanaka, Hiroshi)  
聖徳大学・人文学部・准教授  
80230316